

# アイリスLetter



2015年11月30日発行  
第7号  
広島女学院中学高等学校

## 保護者の皆様へ

今年も最後の月を迎えました。冬にしては暖かい日々が続いていましたが、ようやく冬らしい寒さがやってきた感じです。紅葉していた桜など学校周辺の木々は次から次へとその葉を落として、毎朝掃除をしてくださる技術職員の方々の労も大変なものがあります。

さて、キリスト教の暦では12月25日をクリスマスとして、救い主イエス・キリストの降誕を覚えます。そして、その前の4週間を待降節(アドベント)と呼んでクリスマスに備える時としています。今年は11月29日がそのスタートとなり、アドベントクランツ(木の枝を編んだ輪)やクリスマスツリーの装飾、燭火(電飾)の設置、クリスマスカードの交換などが、この時期独特の習慣となっています。広島女学院では宗教委員や礼拝委員の生徒たち、また技術職員の方々が中心となって毎年その装飾を行います。北半球では夜が最も長くなるこの時期、闇の中に輝く光の装飾は大変印象的なものがありますが、これは暗闇が象徴する罪や闇の世界の只中に救い主による大きな希望が与えられたことを象徴しています。

この度、11月のキリスト教強調週間主題講演では、ルワンダの永遠瑠・マリールイズさんがお話をしてくださいました。赤道近くに位置しながらも高地であるため穏やかな自然に恵まれたこの国で、約20年前に起こった内戦に伴う悲惨な流血の事件は世界に大きな衝撃を与え、戦争が支配した社会では常にそうであるように人間の歴史の深い闇をあらためて示しました。その中を、子供を抱えながら逃げ延びてこられたと言う彼女のお話は、しかし静けさと平和な響きと未来への希望を感じさせるものでした。「私があなた方を休ませてあげよう。」という神様の約束の言葉に信頼し続け、また苦しみの中で人に助けを求め支えられながら歩んでこられた、と言うその言葉は静かな力強さに満ちていました。人の目に絶望としか見えない現実という暗闇の中で、人はなお未来を見だし、切り開いて行く希望を持ち続けることが出来ることを示してくださいました。

今も世界で悲しみと痛みが広がり、一方各個人も多くの問題や課題を抱えながら歩んでいますが、今年もアドベントのこの時期、夕闇の中に沢山の光が街を彩ります。こうした習慣が始まったクリスマス本来の意味、「神は我らと共にいます。」を心に覚えながらクリスマスの時をすごしたいと思います。

### 聖書の言葉

「疲れた者、重荷を負う者は、誰でも私のもとに来なさい。休ませてあげよう。

…私のくびきは負いやすく、私の荷は軽いからである。」

マタイによる福音書 11章 28節 30節

(校長)



## 「<sup>わ</sup>・<sup>わ</sup>・<sup>わ</sup>」で迎えた文化祭

一昨年・昨年と、2年続けて雨にたたられた文化祭、今年も直前まで雨の予想で心配していましたが、無事当日の朝を迎えました。そのためかお客さまも午前中から大勢が来られ、早々に売り切れた食品バザーもありました。さて、文化祭が1日開催となって4年目になりますが、多くの方の意見を取り入れて、毎年新しい工夫をしています。その1つが一般公開開始に伴って行われた朝文研・ハングル部によるオープニングのパフォーマンス。元気な演奏が早くから来られたお客様を迎えてくれました。今年は中学校舎の2階でお化け屋敷を行いました。中学校舎から直接上がることができず、高校校舎から離れていたことで、道順がわかりにくかったことはありますが、その分人の流れも分散されて、全体的に移動しやすかったことと思います。校内を飾ってくれたイメージキャラクター

の白い鳩「ばちえる」、案内役の「げんす先生」（ともに生徒のデザイン）もお客様

を楽しませてくれました。P T Aバザーでは

中学運動部の生徒が協力し、明るい笑顔での接待がお客様に好評でした。P T Aの方には、毎年準備から当日のバザー、後片付けまで、様々な所で文化祭を支えてくださり、教職員

一同感謝しています。最後に、今年のテーマは「<sup>わ</sup>・<sup>わ</sup>・<sup>わ</sup>」でした。和みの和、皆が1つになる輪、そして最後の○は各自で見つけようとの思いで考えられたものでしたが、参加された方は自分にとっての○を見つけたことができたでしょうか。

(生徒会顧問)



「ばちえる」



「げんす先生」

## P T Aバザー報告

P T Aバザーの開催にあたり、保護者の皆様には余剰品や手作り品のご提供、会場設営から当日のお手伝い、安全確保のための校内パトロールなど、多くのご協力をいただきありがとうございました。文化祭当日はお天気にも恵まれ、多くの方にお越しいただいて盛況のうちに無事終えることができました。

各学年の役員が、それぞれの会場の装飾やオリジナル弁当の企画、女学院ならではの手芸品、グッズの製作など、知恵を出し合って一生懸命準備しました。また今年も中学生もお餅つきや美化のお手伝いに参加して、微笑ましい姿でバザーを盛り上げてくれました。

最後になりましたが、校長先生をはじめ、諸先生方、職員の皆様方には大変ご尽力いただきました。改めて、P T Aバザーを支えてくださいました全ての皆様に、役員一同深く感謝いたしますとともに心よりお礼申し上げます。

(P T Aバザー担当副会長)

## キリスト教強調週間 (11/16~21)

今年度は、主題講演講師に元ルワンダ難民で現在は福島にお住まいのマリールイズさんをお迎えし、主題「教育は未来への扉」、主題聖句「疲れた者、重荷を負うものはだれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう」(マタイによる福音書 11章 28節)のもと、実施されました。

マリールイズさんは当時のルワンダ女性としては珍しく高校まで卒業、洋裁の専門学校教師になり、J I C Aの青年海外協力隊の現地協力員として働いたことが縁で、22年前に来日し福島で10ヶ月間研修を受けまし



た。ホームステイ先の80歳のおばあさんが新聞を読むことに衝撃を受け、またそのおばあさんの厳しくも温かい日本語指導のおかげで日本語を身につけることができました。帰国後、1994年に内戦が勃発、100万人が虐殺されたとも言われる混乱の中、2歳から6歳の3人の幼子連れて命からがら、難民キャンプにたどりつきます。福島の友人たちに無事を知らせる日本語のファックスを持って長い列に並んでいたところを、支援に来ていた日本人医師が目を留め、通訳を頼まれます。難民の受け入れに厳しい日本になんとか入国できるよう友人たちが奔走し、留学生として家族と共に再来日。教育のおかげで自分も家族も生き延びられた経験から、祖国ルワンダの未来のために教育こそ必要と考え、ルワンダに学校を作るNPOを立ち上げました。「学ぶチャンスがあるからこそ未来に夢を持てる」「みんなが願わないと平和は訪れない」「この世界を変えていくことができる自分の命に、もっと真剣に向き合って」「教育が開いてくれる扉を通して世界の人とつながって行って下さい」と学ぶことの意味、生きることの意味をたくさん教えられました。また、過酷な体験や困難に向き合ってきたマリールイズさんを支えてきたものは主題聖句で、重い荷物は自分だけで背負わなくていい、私がいっしょに背負ってあげると言って下さる神さまに任せることで、リラックスできる、リラックスすることで人のことを考えられるようになる、必ず道が見つかる」と語られました。

学年別活動では、「隣人と共に生きる」ことについて、社会のさまざまな分野の講師の先生との出会いや具体的実践活動を通して考える時間を持ちました。

週間中の昼休み、中学では、ユダヤ難民を救った日本人外交官杉原千畝を描いた『6千人の命のビザ』を上映、高校では日本ダウン症協会広島支部の方のお話やピーススタデ

ィ活動の報告などが催されました。中学では、マリールイズさんのルワンダの学校を支援する募金に39,848円が集まりました。高校では、日本赤十字社の台風18号災害義援金に29,227円が集まりました。

21日の閉会礼拝では、各学年の生徒代表が感想を発表し、それぞれが学んだことを分かち合いました。学院報や年度末に小冊子『ガリラヤの風』にて詳細をご報告しますので、ぜひご覧下さい。



(宗教教育委員会)

## 保健室だより (7)

寒い日が続いています。いかがお過ごしでしょうか？

インフルエンザにかかる時は、インフルエンザウイルスが、口や鼻から体の中に入ってくることから始まります。ウイルスが増えると、数日の潜伏期間を経て、発熱やのどの痛みなどのインフルエンザの症状がおこります。この状態を「発症」といいます。ワクチンには、この発症を抑える効果が、一定程度認められています。(厚生労働省のホームページよりインフルエンザについての記載より)

### インフルエンザの予防接種をうける時期について

日本では、インフルエンザは例年12月～3月頃に流行し、だいたい1月～2月に流行のピークを迎えるといわれています。予防接種によるワクチンの効果が表れるまで、2週間くらいかかることから、12月中旬頃までに予防接種を受けるのがよいでしょう。

## その他のインフルエンザの予防について

外出から帰った時の「手洗い」や「うがい」は重要で、これをしないと、咳による飛沫を吸い込んだり、菌が付着した手で食事をしたりすることになり、感染の原因になります。マスク着用は、喉を湿らせておくことで感染しにくくなるということがあります。

それでもかかったら治療し、休養をとり、熱が下がって動けるようになっても、焦って登校せず、うつす可能性のある5日間くらいはしっかり休むようにしましょう。

(保健室)

## 心の健康 (7)

師走、学校では今年最後のテストがあります。人は自分の力を試されることになると、緊張し心が揺れるものです。生徒も先生も期末テストに心身のエネルギーをととても使います。保護者もそうでしょう。テストが終わると、急に場面が変わってクリスマスや今年の終わりの行事が待っています。

12月は考え方を切り替えたり、いつもの生活習慣を少し変えたりします。このような時こそ心と身体に十分な栄養が必要でしょう。本、映画、演劇やアートというように、心に語りかけてくる文化に触れることも心の栄養を摂ることになります。例えば、1冊の本を家族全員が読んで話し合うなど、我が家風にプランを立てて実行してみたいかがでしょうか。

(カウンセラー)

## 生徒の活躍

《中学》

◇中学卓球部

\* 広島市中学校新人卓球大会(中・南区大会)

団体：A・Bとも優勝

個人：6名が市大会進出

◇中学新体操部

\* 平成27年度広島市中学校新体操新人大会

個人：Aチーム 2位

Bチーム 3位

◇個人の活躍

\* 平成27年度広島市中学校新人陸上競技選手権大会

個人：一部女子

R・S (2-1) 100m 6位

200m 7位

《高校》

◇高校バスケットボール部

\* 広島地区高等学校新人大会

1回戦 女学院 95-27 比治山女子

2回戦 女学院 49-98 美鈴が丘

◇高校卓球部

\* 第61回広島県高等学校新人卓球大会

広島地区予選

個人：T・H (1-B)

K・A (1-E) 組 ベスト8

\* 第61回広島県高等学校新人卓球大会

広島地区予選

団体：3位

\* 第61回広島県高等学校新人卓球大会

団体：ベスト8

◇高校新体操部

\* 平成27年度広島県高等学校新体操新人大会

団体：2位 (Aチーム)

3位 (Bチーム)

個人：一部個人総合

O・S (1-A) 5位

M・M (2-B) 6位

Y・K (2-C) 7位

二部種目別クラブ

I・H (1-D) 2位

二部種目別リボン

N・S (1-D) 3位

◇個人の活躍

\* 韓国語スピーチ大会 大賞

K・M (2-B)

\* 第59回広島県科学賞 特別賞・委員会特別賞

S・M (1-E)

「タンポポの観察と研究VII」

## 中学讃美歌コンクール開催のお知らせ

12月17日(木) 9時45分～12時20分、ゲーンホールで、中学讃美歌コンクールが開催されます。この時期、生徒たちの一生懸命練習する歌声が学校中に流れ、クリスマスを迎える女学院の風物詩となっています。

なお、ホールの収容能力に限界があるため、参観は中3の保護者の方に限らせていただいております。またお子様連れ、写真・ビデオ撮影、発表中の出入りはご遠慮いただきますようお願いいたします。生徒たちのための大切な行事であることをご理解いただき、ご協力をよろしく願います。

(宗教教育委員会)

## クリスマス献金のお願い

キリスト教の教会では礼拝の中で神様への感謝のしるしとして献金を捧げます。女学院でも、毎年クリスマス礼拝で、神様から与えられた恵みを感謝し、その恵みを“隣人”と分かち合うために「クリスマス献金」を捧げ、被災地や、国内外のNGO・施設などに寄付いたします。2学期最後の週に、礼拝委員(中学)、宗教委員(高校)が呼びかけますので、趣旨をご理解の上、ご協力いただければ幸いです。

(宗教教育委員会)



## 女学院クリスマスのご案内

12月19日(土)午後6時～7時30分、ゲーンホールにおいて女学院クリスマス(一般公開クリスマス礼拝)を行います。今年は木村弘美牧師(日本キリスト教団)のクリスマスメッセージ、高校演劇部による『なるほどクリスマス降誕劇』、高校音楽部・音楽選択生有志による合唱、中学YWCA部によるハンドベルなどのプログラムです。

在校生、ご家族、卒業生はもとより、どな

たでもご参加いただける礼拝ですので、ご近所、お友だちお誘い合わせの上、ぜひご来場ください。なお、入場は無料ですが、会場で席上献金のご協力をお願いしています。

また中学生が参加する場合は、必ず保護者同伴かお迎えをお願いいたします。

(宗教教育委員会)

## 広島女学院メサイア演奏会のご案内

恒例のメサイア演奏会を、今年も下記のように開催します。救い主イエス・キリストの生涯とその意味を音楽で綴ったヘンデルの名曲「メサイア」(曲中のハレルヤが有名)を、どうぞ在学中に一度はお子様とご一緒にお聴きください。オーケストラと合唱には中高大の生徒・学生が多数参加します。また、保護者・卒業生・教員も多数協力出演されます。



日時: 12月23日(水)

17時開場、17時30分開演

場所: ゲーンホール

出演: 中川詩歩、藤井美雪、  
頃安利秀、折河宏治(独唱)

コンサートミストレス…田中晶子  
(NHK交響楽団)

広島女学院メサイア・オーケストラ、  
広島メサイア合唱団、  
星野晴夫(指揮)

入場料: 無料(国内各施設等への献金があります。任意)

※小学生以下のお子様にはゲーン幼稚園による託児室が設置されます。

※駐車場はありませんので、お車での来場はご遠慮ください。

(メサイア実行委員)



## 今月の聖句

「エッサイの株からひとつの芽が萌えいで  
その根からひとつの若枝が育ち  
その上に主の霊がとどまる。

知恵と識別の霊

思慮と勇気の霊

主を知り、畏れ敬う霊。」

(イザヤ書 11 章 1・2 節)

(聖書科 Y. I)

## 12月行事予定

1	火	
2	水	
3	木	
4	金	期末テスト(高3) 1限 8:55~ 期末テスト(高1)
5	土	振替休日(文化祭)
6	日	
7	月	(中3・高2) 1限 8:55~
8	火	(中1・中2) 1限 8:55~ 15分休憩
9	水	1限 8:55~ 15分休憩
10	木	1限 8:55~ 15分休憩 高3自宅学習日
11	金	自宅学習日(中1~高2) 高3テスト返却
12	土	高3駿台センター試験プレテスト
13	日	
14	月	テスト返却(中1~高2)
15	火	高3特別時間割 高3期末テスト素点確認
16	水	特別時間割 期末テスト素点確認(中1~高2) 高性教育
17	木	中讃美歌コンクール 高3自宅学習日
18	金	クリスマス礼拝リハーサル 補習
19	土	終業の日 クリスマス礼拝 女学院クリスマス
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	天皇誕生日 メサイア
24	木	
25	金	クリスマス
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	

